

第 2 回 館山市議会定例会会議録
(第 4 号)

1 昭和62年6月23日(火曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1番 脇田 安保
3番 田沢 勝信
5番 岩村 勝弘
8番 鈴木 勝美
10番 鈴木 忠夫
12番 榎本 春光
14番 小宮 利夫
16番 石井 昌治
18番 日下 君敏
20番 福原 勤
22番 黒川 平治
24番 松下 正己
26番 近藤 好雄
28番 飯田 義男

2番 永井 龍平
4番 庄司二三男
6番 山崎 雅己
9番 山口 康雄
11番 神田 守隆
13番 山中金治郎
15番 横溝 功
17番 石井 謀
19番 川名 正二
21番 辻田 実
23番 流山源次郎
25番 渡辺 昭夫
27番 林 豊

1 欠席議員 1名

7番 生稲 隆

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 山田 俊康
総務部長 飯野 芳郎
経済部長 安西 良一
教育委員会 正木 高剛
委員 利
選挙管理委員会 加藤 重司
委員長 鈴木 六郎
監査委員 池田
農業委員会 局長

助役 小倉 澄男
市長公室長 錦織 茂弘
民生部長 渡辺 弘
水道課長 石井 敏夫
教育委員会 福原 修
委員 佐藤 輝雄
選挙管理委員会 橋本 巖利
事務局書記長

1 出席事務局職員

事務局長 庄司 利光
書記 鈴木 哲

事務局長補佐 兵藤 恭一
書記 土橋 康彦

書 記 加藤 浩一

1 議事日程（第4号）

昭和62年6月23日午前10時開議

- 日程第1 { 議案第21号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第22号 損害賠償の額の決定及び和解について
議案第24号 昭和62年度館山市一般会計補正予算（第1号）
- 日程第2 { 議案第23号 暴力追放都市宣言について
議案第25号 昭和62年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 日程第3 { 請願第4号 農産物輸入自由化反対・米市場開放阻止に関する請願書
請願第5号 農産物の自由化に反対し、国民の食糧を守り、農業再建を求める請願書
- 日程第4 議案第26号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 日程第5 発議案第4号 極左暴力団の排除等に関する決議について

開 議 午前10時25分

○議長（飯田義男君） 本日の出席議員数27名、これより第2回市議会定例会第4日目の会議を開きます。

議案の配付

○議長（飯田義男君） 議案を配付いたさせます。

議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

○議長（飯田義男君） 日程第1、議案第21号、議案第22号及び議

案第 24 号の各議案を一括して議題といたします。

総務委員会委員長報告

○議長（飯田義男君） ただいま議題となりました各議案は、ともに 6 月 19 日の本会議において総務委員会に付託されたものであります。

よって、これより各議案に対する総務委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

総務委員会委員長渡辺昭夫君。御登壇願います。

（総務委員会委員長渡辺昭夫君登壇）

○総務委員会委員長（渡辺昭夫君） ただいま議題となりました議案第 21 号、議案第 22 号及び議案第 24 号に係る総務委員会におきます審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

本議案については、去る 6 月 19 日の本会議において付託されたものであり、同日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。その質疑応答等主なる事項について申し上げます。

まず、議案第 21 号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてであります。1 人当たりの負担額の推移について説明を求めましたところ、前年度対比で 60 年度 20.5%、61 年度 14.4%、62 年度 2.84% 増であり、62 年度についてはあん分率の変更はなく、所得の自然増によるものであるとの説明がありました。

次に、今回課税限度額が 37 万円から 39 万円に引き上げられていますが、課税限度額引き上げに対する考え方について説明を求めましたところ、地方税法の改正によるものであり、考え方としては、国保の高額所得者の負担率については、政府管掌保険並みとされているが、中低所得層はそれに比較して高い率になっており、課税限度額を引き上げて中低所得者の負担の軽減を図る必要があること、また課税限度額の引き上げを行わない場合、医療費の自然増について限度額対象以外の者が負担しなければならないということが挙げられる、なお、全国的にみて医療費の増加率が 7% ということで 2 万円が算出されたと考えている旨説明がありました。

さらに、課税限度額の対象については、37 万円の場合 926 所帯、

39万円に引き上げた場合は822所帯であり、単に所得割のみで試算した場合は年収750万円から800万円以上と考えられるとの説明がありました。

次に、国保会計への一般会計からの繰り出しについては、これまでも本会議で論議されていますが、さらに将来国保会計運営が逼迫した場合の対応について考え方をただしましたところ、国保の運営については国の委任事務であり、本来国が責任をもって行うべきである、医療保険制度そのものに根本的な矛盾があり、そのしわ寄せが地方公共団体にきている、また相互扶助の制度であり、原則はあくまでも独立会計として、市民が耐え得る負担であれば一般会計から繰り出すべきではないとの考えが示されました。

委員より、市民負担も限界にきており、一般会計からの繰り出しを行うべき時期にきているのではないかとの意見がありました。

次に、議案第22号損害賠償の額の決定及び和解についてであります。丸太柱の倒れた原因については、丸太柱に支線のロープが張っており、それにぶら下がって遊んでいた園児がいたようで、その力が作用して倒れたものと考えられるとの説明がありました。

次に、警察への届出については本年6月5日に行ったが、警察では業務上過失になるかどうか分からないが、一応調査してみるとのことであったとの説明がありました。

また、本件については、市の管理に手落ちがあったことによるもので、市の過失責任であるということに立っての和解であり、被害者には何ら過失相殺すべきものはなかったとの考えが示されました。

なお、関連して、市で設置している遊具の点検、管理体制等についての質疑がありました。

採決の結果、付託されました議案第21号、議案第22号及び議案第24号の各議案につきましては、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、総務委員会委員長報告を終わります。

◎議長（飯田義男君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なし

と認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（飯田義男君） これより討論を行います。

通告がありますので、発言を許します。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

◎11番（神田守隆君） 議案の第21号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について反対の討論を行います。

館山市国民健康保険税の最高課税限度額を現行の37万円から39万円に引き上げようとするものでありますが、この限度額は夫婦、子供2人の標準家庭で試算をいたしますと、年収約566万円の方がこの限度額39万円を負担することになります。このことは逆に年収566万円の方は政府管掌健康保険であります、健康保険料は18万円であります。同じ収入566万円の方が国保だと39万円、政管健保だと18万円、実に2倍以上もの高い負担をしなければなりません。

私は、この限度額の引き上げは例えば年収1000万円を超えるなど、真に高額所得者と考えられる方だけに限られるべきであり、それ以下の収入の家庭に対しては現行の限度額37万円を据え置くべきことを主張いたしまして、反対の討論といたします。

◎議長（飯田義男君） 以上で11番議員君の討論を終わります。

以上で通告者による討論を終わりますが、通告をしない議員で討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって討論を終結いたします。

採 決

◎議長（飯田義男君） これより採決いたします。

採決は分割して行います。

まず、議案第21号館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について起立により採決いたします。

議案第21号に対する委員長の報告は原案可決であります。

本案を委員長の報告どおり可決することに賛成の諸君の起立を求めま

す。

(賛成者起立)

○議長(飯田義男君) 起立多数であります。よって、議第第21号は原案どおり可決されました。

次いで、議案第22号及び議案第24号について一括して採決いたします。

議案第22号及び議案第24号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(飯田義男君) 御異議なしと認めます。よって、議案第22号及び議案第24号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

議案の上程

○議長(飯田義男君) 日程第2、議案第23号及び議案第25号の各議案を一括して議題といたします。

文教民生委員会委員長報告

○議長(飯田義男君) ただいま議題となりました各議案は、ともに6月19日の本会議において文教民生委員会に付託されたものであります。よって、これより各議案に対する文教民生委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

文教民生委員会委員長榎本春光君。御登壇願います。

(文教民生委員会委員長榎本春光君登壇)

○文教民生委員会委員長(榎本春光君) ただいま議題となりました議案第23号及び議案第25号に係る文教民生委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

去る6月19日の本会議におきまして、本委員会に付託されました両議案につき、6月20日委員会を招集し、慎重に審査を行いました。以下、その質疑応答等につきまして主なる事項を申し上げます。

まず、議案第23号暴力追放都市宣言についてであります。本市に

おける組織暴力団の実態について説明を求めましたところ、実態の詳細な把握は困難であるが、昭和46年から組織暴力団3系列による抗争が始まり、現在まで組長射殺事件を初めとして抗争事件が発生している、また市民に対しても金員徴収活動等が行われているようであり、昭和60年には防犯協力会において暴力追放の決議がなされ、その後においても警察の指導もあり、暴力団の資金源を断つべく料飲組合や遊技場組合等各業種別に会議が随時開催されてきている状況にあるとの説明がありました。

また、警察の取り組みについての質疑に対し、現在、県警を初めとして重点的に取り締まりの強化が図られておるところであるが、一時的なものに終わらせないために、さらに今後も継続して実施をしていくと聞いているとの説明がありました。

さらに、警察が厳しく対処されるよう市としても強く要請していくことが必要ではないかとの意見がありました。

次に、議案第25号昭和62年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についてであります。国庫支出金及び療養給付費交付金の補正について説明を求めましたところ、国庫支出金中、療養給付費等負担金については老人保健の拠出金が減ったことに伴い国からの補助金が減額になったものであり、また療養給付費交付金については、退職者医療関係のもので退職者の医療給付費から退職者の国保税を引いたものが交付金としてくるが、退職被保険者の国保税を減額したため増額になったものであるとの説明がありました。

次に、今回保険税の課税限度額を39万円に引き上げようとする提案がされていますが、限度額の対象について具体的な説明を求めるとともに、政府管掌健康保険に比較してどうか説明を求めましたところ、試算割を平均の3万円で試算した場合、年収566万円程度から限度額の対象になり、年収560万円から621万円の世帯数は204世帯である、また政府管掌健康保険の場合、560万円での負担は18万500円程度となり、国保が約2.16倍となっている旨説明がありました。

なお、政府管掌健康保険の課税限度額については35万3580円、年収にすると850万円程度であるとの説明がありました。

次に、高額療養費に対する県の補助の内容について説明を求めましたところ、県の補助は２項目あり、まず高額療養費負担金補助として各月の延べ件数に１件当たり１０００円を乗じた額、１億１６００万円、また高額医療関係で各市が共同して行っている事業に対し補助金として２０００万円、６２年度計１億３６００万円が交付されており、増額について国保関係の課長会議等において県に要望しているとの説明がありました。

また、高額療養費の支給状況については、支給額前年対比で５９年度２６．２７ポイント増、６０年度３５．２７ポイント増、６１年度１１．７７ポイント増となっており、件数、金額ともに伸びているとの説明がありました。

次に、討論を行い、保険税の課税限度額の引き上げについては、政府管掌健康保険の限度額との比較において高いこと、また必ずしも対象者が高所得の人に限らないという点から問題があると思うが、税率改正を行わない点について評価し賛成するとの意見がありました。

採決の結果、付託を受けました議案第２３号及び議案第２５号については、全員一致をもって原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、文教民生委員会委員長報告を終わります。

◎議長（飯田義男君） 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長（飯田義男君） これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（飯田義男君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。議案第２３号及び議案第２５号についての委員長の報告は原案可決であります。

各議案を委員長の報告どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(飯田義男君) 御異議なしと認めます。よって、議案第23号及び議案第25号の各議案はいずれも原案どおり可決されました。

請願書の上程

◎議長(飯田義男君) 日程第3、請願第4号及び請願第5号の各請願書を一括して議題といたします。

建設経済委員会委員長報告

◎議長(飯田義男君) ただいま議題となりました各請願は、ともに6月19日の本会議において建設経済委員会に付託されたものであります。

よって、これより各請願に対する建設経済委員会における審査の経過並びに結果につき委員長の報告を求めます。

建設経済委員会委員長川名正二君。御登壇願います。

(建設経済委員会委員長川名正二君登壇)

◎建設経済委員会委員長(川名正二君) 建設経済委員会におきます請願の審査結果につきまして御報告申し上げます。

去る19日の本会議において、本委員会に付託されました請願第4号農産物輸入自由化反対・米市場開放阻止に関する請願書及び請願第5号農産物の自由化に反対し、国民の食糧を守り、農業再建を求める請願書について、22日委員会を招集し、審査いたしましたところ、いずれも採択すべきものと決しました。

以上、御報告申し上げます。

◎議長(飯田義男君) 以上で委員長の報告を終わります。

ただいまの委員長報告について御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

討 論

◎議長(飯田義男君) これより討論を行います。

通告はありませんでした。討論ありませんか。——討論なしと認めま

す。よって、討論を終結いたします。

採 決

○議長（飯田義男君） これより採決いたします。

採決は一括して行います。

請願第4号及び請願第5号についての委員長の報告は採択であります。

各請願を委員長の報告どおり採択いたしますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、請願第4号及び請願第5号の各請願はいずれも採択と決しました。

日程の追加

○議長（飯田義男君） お諮りいたします。

ただいま発議案第5号農産物の輸入自由化反対、農業再建に関する意見書についてが提出されました。

この際、本案を日程に追加し、議題といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本案を日程に追加し、議題とすることに決しました。

議案の上程

○議長（飯田義男君） 発議案第5号農産物の輸入自由化反対、農業再建に関する意見書についてを議題といたします。

議案を配付いたさせます。

（議案配付）

○議長（飯田義男君） 議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（飯田義男君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（飯田義男君） 提出者の説明を求めます。

（19番議員川名正二君登壇）

◎19番（川名正二君） ただいま議題となりました第5号農産物の輸入自由化反対、農業再建に関する意見書について提案理由を御説明申し上げます。

本案はただいま採択されました請願書に附帯しまして、請願書の願意を関係機関に反映いたしたく、本案を提出いたした次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明といたします。

◎議長（飯田義男君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（飯田義男君） これより質疑を行います。

御質疑はありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（飯田義男君） これより討論を行います。

討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎議長（飯田義男君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

継続審査について

◎議長（飯田義男君） この際、申し上げます。

総務委員会において審査中の請願第3号国家機密法反対の意見書の提出をもとめる請願書について委員長から会議規則第104条の規定により審査終了まで閉会中の継続審査とされたい旨の申し出がありました。

お諮りいたします。請願第3号を委員長からの申し出のとおり、審査終了まで閉会中の継続審査といたしますことに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

◎議長（飯田義男君） 起立多数であります。よって、本請願は審査終了まで閉会中の継続審査とすることに決しました。

議長の報告

◎議長（飯田義男君） なお、この際申し上げます。

本定例会において各常任委員会に送付いたしました陳情書について、審査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の上程

◎議長（飯田義男君） 日程第4、議案第26号人権擁護委員候補者の推薦についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

（書記朗読）

◎議長（飯田義男君） 朗読は終わりました。

議案の内容説明

◎議長（飯田義男君） 議案の説明を求めます。

（市長半澤良一君登壇）

◎市長（半澤良一君） 議案第26号人権擁護委員候補者の推薦についてでございますが、去る5月14日をもちまして任期満了となりました人権擁護委員3名につきまして、人権擁護委員法第6条第3項の規定により候補者の推薦を求められておりますので、引き続き伊澤きよさん、島野茂樹郎さん、蜂谷達二さんを最適任者としたしまして御推薦申し上げたいと存じます。

よろしく願いをいたします。

◎議長（飯田義男君） 説明は終わりました。

質疑応答

◎議長（飯田義男君） これより質疑を行います。

御質疑はありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託の省略

◎議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

討 論

◎議長（飯田義男君） これより討論を行います。

討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。